

株式会社ライフコーポレーション

持続可能で豊かな社会の実現に貢献する 食品廃棄物削減の取り組み



ライフコーポレーション

**近畿圏169店舗、首都圏144店舗、合計313店舗
(11月30日現在) を展開する食品スーパーマーケット**



【経営理念】

「志の高い信頼の経営」を通じて
持続可能で豊かな社会の実現に貢献する

【持続可能で豊かな社会の実現】

コミュニティの人々が「楽しく」「安心して」
「健康的な」生活を営むことができる

+

地球環境、社会が
健全であること



安定的・継続的な店舗運営、安全・安心で高品質な商品・
サービスの提供とともに、**地球環境と社会の課題解決**に努める

食品廃棄削減

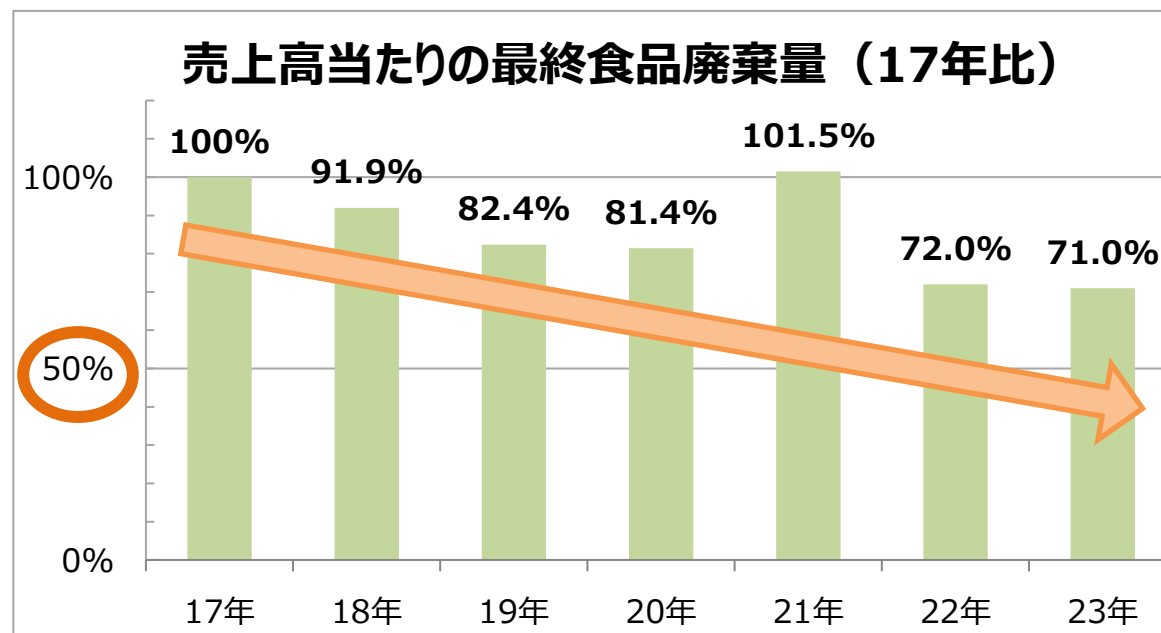
● 取り組む理由

日本で年間**472万t**（食品小売業で49万t・令和4年度）の食品廃棄が発生

- ・食品を多量に製造・販売する事業者としての社会的責任
- ・循環型社会の構築に貢献

● 目標

2030年までに2017年度売上高当たりの食品廃棄量を**50%**削減



食品廃棄削減 主な取り組み

- ① 食品残渣を活用したバイオガス発電事業
- ② 地域の子ども食堂等への食品寄贈
- ③ 販促物などによる呼びかけ
- ④ 食や環境に関する「出前授業」「店舗イベント」
- ⑤ 自治体と連携した商品開発

① 食品残渣を活用したバイオガス発電事業

プロセスセンターで発生する食品残渣を利用して発電



原料投入

食品残渣を投入



10トン投入

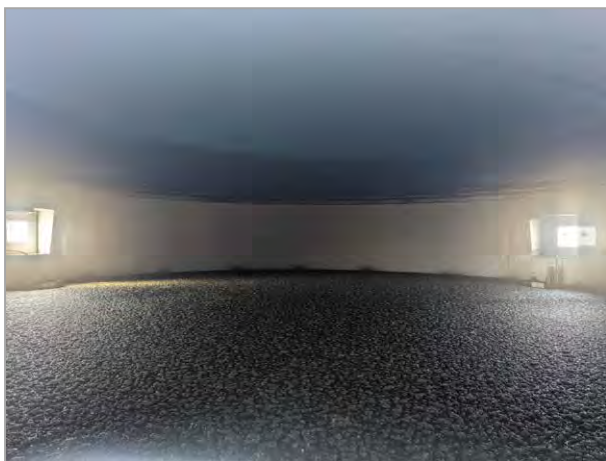
バイオガス発電機



二酸化炭素
排出抑制



バイオガス発酵槽



バイオガス
による発電

消化液処理設備

約90%の
廃棄物削減



1トンの廃棄物

発酵槽の保温に
発電機の排熱利用

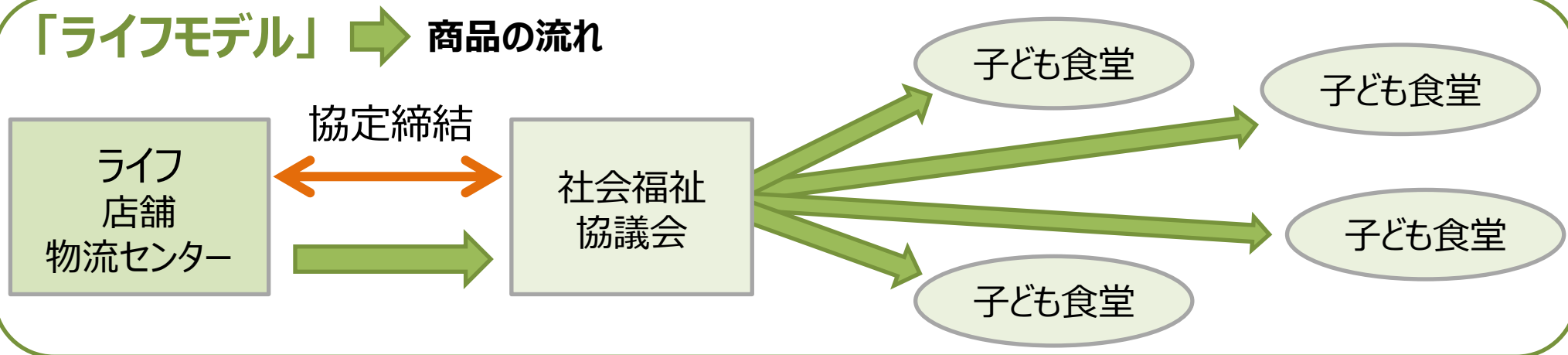
② 地域の子ども食堂等への食品寄贈

販売期限切れや外装の破損などで
販売不可となった商品のうち、賞味期限内
で安全な商品を出店地域の子ども食堂等
に無償で提供

【提供商品例】



「ライフモデル」 ➡ 商品の流れ



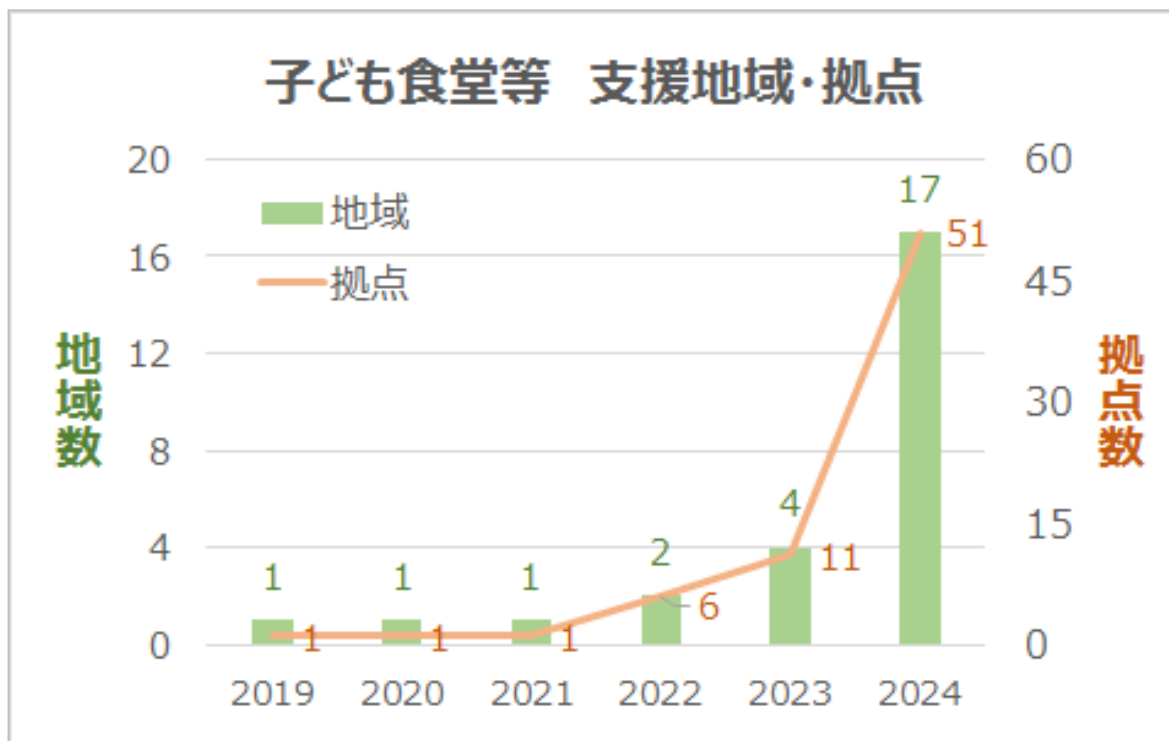
社会福祉協議会等と直接協定を交わす「ライフモデル」を確立。
店舗毎に提供食品を用意しており、社会福祉協議会等が
月 1 回来店し、商品を受け渡し。



2030年50拠点（店舗または物流センター）での支援を
目標に、2019年から取り組みを開始

2025年1月現在、**17地域(市区町村)** **51拠点**で実施

2023年度の提供商品数は**20,000個以上**

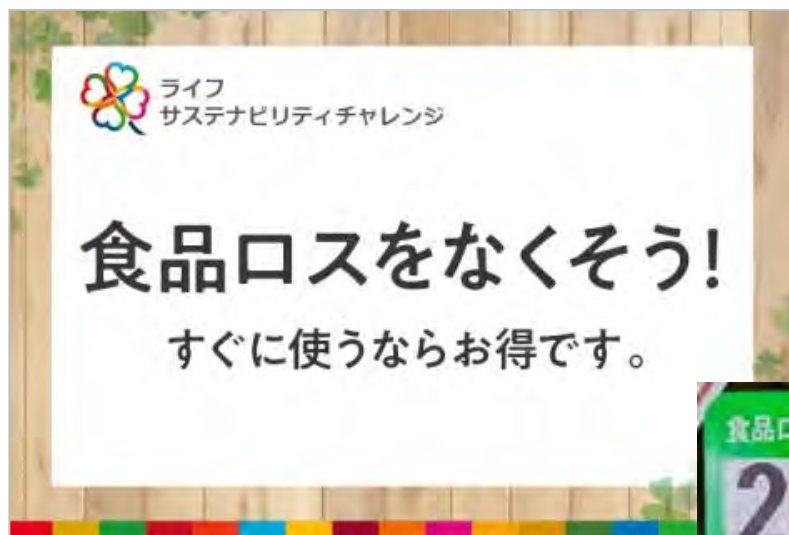


- 首都圏：7地域16拠点
東京都（7地域16拠点）
- 近畿圏：10地域35拠点
大阪府（6地域21拠点）
兵庫県（1地域9拠点）
京都府（1地域3拠点）
奈良県（2地域2拠点）

③ お客様へご協力をお願い 「販促物などによる呼びかけ」

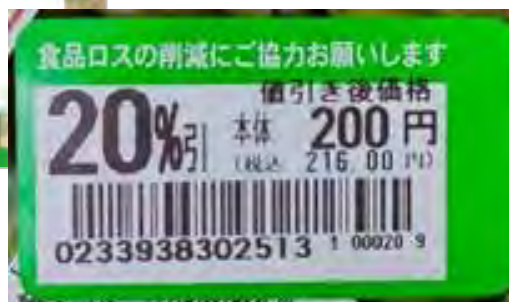
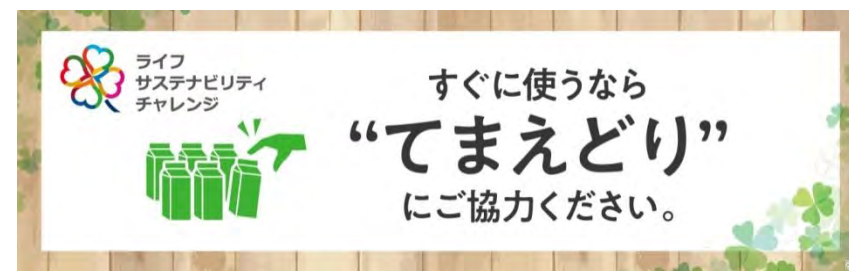
● 見切り商品

- ・すぐに使うならお得です
- ・食品ロス削減にご協力をお願いします



● てまえどり

- ・すぐに使うなら“てまえどり”にご協力ください



④ 食や環境に関する「出前授業」「店舗イベント」

● 出前授業

出店地域の小学生・園児を中心に実施

【実施件数】201件 14,286人（2023年度）

【プログラム】三色食品群、食品ロス、環境学習、もったいない鬼ごっこ等



ライフオリジナル環境冊子「いっしょに未来を考える。の本」

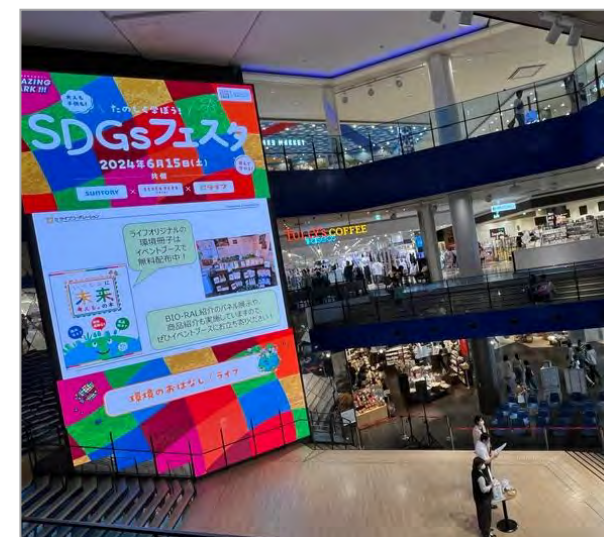
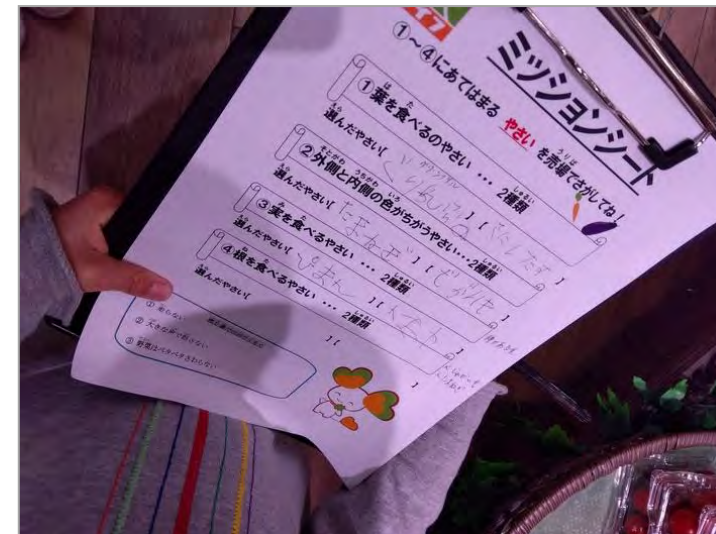


●店舗イベント

「食の大切さ」や環境を学ぶ店舗イベントを
小学生の親子を中心に実施

【実施件数】31件 848人（2023年度）
（内メーカーコラボ 首都圏8社 近畿圏5社）

【プログラム】三色食品群、食品ロス、
お買い物ゲーム、たべものビンゴなど



⑤ 自治体と連携した商品開発

ライフオリジナル「大阪産（もん）」商品



●大阪産（もん）

大阪府域で栽培・生産される農産物、畜産物、林産物、水産物と、それらを原材料として使用した加工食品

品質には問題がないものの、一般流通できない規格外の
大阪産みかん、レモンを使用した「サステナブル」なお酒

2030年食品廃棄50%削減に向けた 今後の取り組み

① バイオガス発電施設

2025年3月より、関東圏でも稼働予定。
関東圏での食品廃棄量・CO2排出量削減にも取り組む。



② 子ども食堂等への商品寄贈

・**出店エリア内**(東京・神奈川・埼玉・千葉・大阪・
兵庫・京都・奈良) の市区町村で年間4～5
地域の支援拡大を目指す

・**生鮮食品**提供の実証実験結果を踏まえ、
実施を検討



③出前授業・店舗イベント

- ・当社事業に関連した内容で、「食の大切さ」などを伝える



④店頭での食品ロスを削減

- ・AIによる精度の高い発注を実施
- ・食品廃棄量や、廃棄金額の見える化を行い、各店舗の特徴に合わせた取り組みを実施





ライフコーポレーションは、

今後も、

「持続可能で豊かな社会の実現」
に向けて取り組みを推進してまいります。

ご清聴ありがとうございました。

